

第128回 学長定例記者会見

日時：令和2年12月22日（火）11：00～11：30

場所：広島大学 東広島キャンパス 法人本部棟5階 5F1会議室

※ テレビ会議システムにより、記者会見の様様を同時配信

受信場所：東千田キャンパス 東千田未来創生センター 4-1

※ YouTubeによる録画配信を実施

【発表事項】

1. 本学で行っている新型コロナウイルス感染症の予防対策について
2. 第7回広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」授賞式及び
記念講演会の開催について < 受賞者：国谷 裕子氏 >

【お知らせ事項】

1. 「放射線災害・医科学研究拠点」が国際シンポジウム・ワークショップを
オンラインで開催します
2. シリア難民に対する人材育成事業「シリア平和への架け橋・人材育成
プログラム」の一環である日本語集中研修を森戸国際高等教育学院が実施
します

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時：令和3年1月下旬

場所：広島大学 霞キャンパス

令和 2 年 12 月 22 日

本学で行っている新型コロナウイルス感染症の 予防対策について

新型コロナウイルス感染が全国的に急増している中、広島大学では、感染予防対策として、各種取り組みを行っております。

既の実施している「講義棟への消毒薬の配置」、「学生へのモバイル Wi-Fi ルーターの貸出」、「フェイスシールドの配布」等の対策に加え、令和 3 年 1 月以降に、講義室の必要な換気量を満たすため、一定の条件を満たす講義室には「二酸化炭素濃度測定器の導入」を予定しております。

このことにより、二酸化炭素濃度を常時測定し、設定値を超えた場合アラームが鳴動し、窓開け換気を促します。

本学では、感染拡大防止のための措置を引き続き講じてまいります。

< 本学における取り組み >

○ 二酸化炭素濃度測定器の導入

年明け以降、講義室の必要な換気量を満たすため、二酸化炭素濃度測定器を導入します。二酸化炭素濃度を常時測定し、設定値を超えた場合アラームが鳴動し、窓開け換気を促します（講義室の収容定員および受講者数など一定の条件あり）。

○ フェイスシールドの配布

授業や窓口対応での対面に不安を抱く学生・教職員もいるため、9 月下旬から、希望する学生や教職員にフェイスガードの配布を行っています。

また、11 月に実施した広島大学光り輝き入試では、約 1,100 枚を受験生、試験監督者等に配付。今後、実施される前期・後期入試でも配付できるよう準備しています。

○ 講義室アクリル板の設置

飛沫による感染対策として、11 月初旬に講義室の教卓、学生用机にアクリル板を設置しました。

設置後、同室での授業を受講した学生にアンケートを実施し、設置講義室を増やすかどうか検討しているところです。

○ 学生へのモバイル Wi-Fi ルーターの貸出

自宅等にネットワーク環境がない学生に対して、無償でモバイル Wi-Fi ルーターの貸し出しを行っています。（令和 2 年 5 月 27 日から）

- **講義棟への消毒薬の配置**
対面授業の再開にあわせて、各講義棟に消毒薬を配置しています。

- **食堂の利用席数の削減**
11月末までの本学の行動指針レベル1（要注意）（一部の活動制限）の期間も、食堂では席ごとにパーティションを設置していましたが、12月よりレベル1.5に引き上げられたことに伴い、食堂の利用席数を1/2程度とし、座席間の距離を保つ追加措置を行いました。

- **キャリア相談、就職関連ガイダンス・セミナーのオンライン化**
昨年度まで対面で実施していたキャリア相談、インターンシップ・就職関連ガイダンス・セミナーを今年度はオンラインで実施（リアルタイム配信、オンデマンド配信）しています。

- **卓越大学院プログラムの学生交流・イベントのオンライン化**
プログラムに係る情報共有、知識・視野の拡大、学生のモチベーション向上、人脈形成等の促進を目的として、学生同士、教職員及び参画企業等との「交流会」をオンラインで実施しています。

- **賑わいパビリオンに機械式換気設備の導入**
（窓が無い）扉開けによる自然換気では換気量が不足しているため、現在閉鎖中の「賑わいパビリオン」に機械式換気設備（全熱交換型換気扇）を導入します。

【お問い合わせ先】

| |
|---------------------------------|
| 教育室教育部長 長谷川 TEL：082-424-6150 |
|---------------------------------|

令和 2 年 12 月 22 日

第 7 回広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」授賞式
及び記念講演会の開催について

広島大学は、女性研究者の研究活動の支援を図るとともに、他機関等との連携による新たな取り組みを通して、より独創的・学際的な活動をサポートすることを目的として、女性研究活動委員会を設置しています。

また、平成 25 年に、本委員会の支援の一環として、女性自ら先導し、あるいは女性の活躍の場を広げることによって、社会全体の活力向上に貢献した個人・団体を顕彰するため、広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」を創設しました。

この度、受賞者である国谷裕子氏をお招きし、第 7 回授賞式及び記念講演会を以下のとおり開催いたしますので、奮ってご参加ください。

【日時】

令和 3 年 1 月 22 日（金）13 時 00 分～14 時 30 分

【開催方法】

オンラインによるライブ配信

【申込方法】

以下 URL より必要事項を入力の上、お申込みください。

<https://forms.gle/Lmiqdaju8yDKM3JE7>

【申込締切】

令和 3 年 1 月 15 日（金）

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室 学術・社会連携部
企画グループ 中田 小百合
TEL:082-424-5884 FAX:082-424-6189

第7回 広島大学
女性活躍促進賞『メタセコイア賞』授賞記念



国谷 裕子

講演会



令和3年

1月22日(金) 13:00~14:30
(授賞式/13:00~、講演会/13:20~)

オンラインにて開催 要事前申込



お申込はこちらから▶



<https://forms.gle/Lmiqdaju8yDKM3JE7>

申込締切：令和3年1月15日(金)

受賞者略歴

国谷 裕子 (くにや ひろこ)

大阪府生まれ。米ブラウン大学卒業。1989年からNHK衛星放送「ワールドニュース」キャスター、1993年から2016年3月までNHK総合テレビ「クローズアップ現代」キャスターをつとめる。このほか、NHKスペシャル等の番組キャスターも担当。2016年から、SDGs(持続可能な開発目標)の取材・啓発活動を行っている。現在、東京芸術大学理事、慶応義塾大学大学院特任教授、国連・食糧農業機関(FAO)親善大使、自然エネルギー財団理事。1998年放送ウーマン賞、02年菊池寛賞、11年日本記者クラブ賞、16年ギャラクシー賞特別賞受賞。

著作「キャスターという仕事」(岩波新書)

学長挨拶

広島大学では、女性自ら先導し、あるいは女性の活躍の場を広げることによって、社会全体の活力向上に貢献した個人・団体を顕彰するため、平成25年度から表彰を行っています。国谷裕子氏は、ニュースキャスターとして活躍されるだけでなく、SDGsの啓発活動に取り組みされており、本講演会では、大変貴重なお話を伺える機会となります。是非、多くの方にご参加いただきますようお願い申し上げます。



広島大学長 越智 光夫

お問い合わせ

広島大学 学術・社会連携部企画グループ E-mail:ura-women@office.hiroshima-u.ac.jp



広島大学



令和 2 年 12 月 22 日

「放射線災害・医科学研究拠点」が国際シンポジウム・ワークショップをオンラインで開催します

広島大学、長崎大学、福島県立医科大学によって平成 28 年 4 月に設置されたネットワーク型拠点「放射線災害・医科学研究拠点」は、令和 3 年 2 月に「第 5 回国際シンポジウム」・「第 2 回ワークショップ」をオンラインで開催します。

第 5 回国際シンポジウム（主管校：長崎大学）

日時：令和 3 年 2 月 8 日（月）13：00～17：30

場所：「Zoom」によるオンライン開催

「Nuclear Disaster Management, Community Engagement and Resilience（放射線災害管理、地域社会の関わりと復興）」をテーマに、韓国、シンガポール、ロシア、フランス、イギリスなどの研究者を交え、講演やセッション、ポスター発表を行います。

放射線や関連諸科学の分野で世界的に著名な研究者による最先端の学術成果を踏まえ、更なる放射線災害・医科学研究の学術的基盤の確立を目指します。

第 2 回ワークショップ（主管校：長崎大学）

日時：令和 3 年 2 月 9 日（火）13：00～16：00

場所：「Zoom」によるオンライン開催

全国の関連研究者から公募した共同利用・共同研究課題や 3 拠点機関が大学の枠を超えて連携し新たな課題に取り組んでいるトライアングルプロジェクトの成果発表に加え、ネットワーク型共同研究拠点間の連携に関する講演発表を行います。

【お問い合わせ先】

広島大学霞地区運営支援部総務グループ
放射線災害・医科学研究拠点本部事務局
Tel：082-257-5186
Fax：082-255-8339

The 5th International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center
for Radiation Disaster Medical Science

Nuclear Disaster Management, Community Engagement and Resilience

Feb. 8

Mon, 2021

WEB Symposium

▶ **Keynote Lecture**

Michiaki KAI

▶ **Radiation casualty medicine**

Seung Bum Lee (Korea) - Oral Session -

Tomisato MIURA*

Olivier Isnard (France)*

▶ **Low dose radiation effects and
health risk study**

Prakash Hande (Singapore) - Oral Session -

Makoto HOSONO*

Keiji SUZUKI*

▶ **Social impact of a radiation disaster
and radiological protection studies**

Mikhail Balonov (Russian Federation) - Oral Session -

Keiko KANAI*

Alison Lloyd Williams (UK)*

* VOD: Video on Demand

日時 2021年2月8日 13:00-17:30 (日本時間)

形式 オンラインシンポジウム (Zoom使用)

参加費 無料

REGISTRATION



Please register through QR code or URL, after your registration, the symposium's organizing committee will send you a Zoom URL by email.

<https://forms.gle/LKv5YgkVmAL9Bf8q6>

主催

ネットワーク型共同利用・共同研究拠点／放射線災害・医学研究拠点
広島大学原爆放射線医学研究所／長崎大学原爆後障害医療研究所
福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター

後援

放射線被曝者医療国際協力推進協議会 (HICARE)
長崎・ヒバクシャ医療国際協力会 (NASHIM)

お問い合わせ先 / Contact Information

長崎大学生命医科学域・研究所事務部 総務課 Nagasaki University Biomedical Sciences Administration Department

☎ 095-819-7195

📠 095-819-7199

✉ gakujutu_gakuji@ml.nagasaki-u.ac.jp

🌐 <https://housai.hiroshima-u.ac.jp/>



令和 2 年 12 月 22 日

シリア難民に対する人材育成事業
「シリア平和への架け橋・人材育成プログラム
(Japanese Initiative for the future of Syrian Refugees : JISR)
の一環である日本語集中研修を森戸国際高等教育学院が実施します

本事業 JISR（ジスル）は、2016 年 5 月に日本政府が表明した中東支援策の 1 つで、シリア危機により就学機会を奪われたシリア人の若者に教育の機会を提供する活動です。

この度、広島大学森戸国際高等教育学院は JICA の依頼を受け、研修生の卒業後を見据えた新たな支援として、来日する第 4 バッチ生全員 7 人に日本語集中研修を実施します。期間は、2020 年 12 月から翌年の 7 月までの 8 カ月で、研修生一人ひとりに日本語チューターがつけられ、日本文化紹介や体験学習を含めた日本語能力向上のための集中的な研修が行われます。

本研修により、終了後の「専門教育の研究成果」や「将来の日本での就職」に繋がることが期待されます。

- JISR に関する記事は JICA のウェブサイトを参照
<https://www.jica.go.jp/syria/office/others/jisr/index.html>

【お問い合わせ先】

国際室国際部グローバル化推進グループ 中本
TEL:082-424-6184 FAX:082-424-4545